

海外派遣留学プログラム 帰国報告書

記入日	2023/6/24
所属学部・研究科・学府	国際教養学部
所属学科・専攻	国際教養学科

1. 留学先について

留学先大学名	リンショーピン大学											
留学先所属学部等	教養学部											
留学期間	出発日	2023/1/15	入学日	1/23	修了日	6/11	帰国日	2023/6/13				
住居	大学(紹介)の寮・アパート	<input type="radio"/>	民間アパート	<input type="radio"/>	その他 ()							
	通学時間	10分					On campus					
	通学方法	自転車										
	居室スペース ✓を入れてください	<input checked="" type="checkbox"/>	個室	()	人部屋	その他 ()						
	共有スペース ✓を入れてください	<input type="checkbox"/>	完全個室	<input checked="" type="checkbox"/>	キッチン	<input type="checkbox"/>	トイレ	<input type="checkbox"/>	バス	<input checked="" type="checkbox"/>	リビング	<input type="checkbox"/>
食事	自炊	98 %	学食	0 %	外食	2 %	その他 % ()					
保険	海外旅行保険 (名称・加入プラン名)	なし										
	留学先国・大学指定保険 (名称・加入内容)	留学生トータルサポート							<input type="radio"/>	加入必須		
	その他加入保険	なし										
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車) 羽田 ⇄ イスタンブール ⇄ スtockホルム 帰りはヘルシンキ経由でした。											

2. 留学資金の内訳

自費	貯金	0 円	アルバイト	円	その他	円
援助	親	71万 円	家族・親戚	円	その他	円
奨学金	JASSO	40万 円	その他名称 (ENGINEサポート)	5万 円		
その他	()					円

3. 留学にかかった費用

総費用	1,058,046 円
-----	-------------

3-1. 留学にかかった費用：内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			238,830	円
JTBトータルサポートプログラム (海外旅行保険・危機管理サービス)			90,000	円
その他の保険料			0	円
査証・在留許可証			0	円
住居			214,321	円
光熱費			0	円
食費			260,714	円
通学に要する交通費			0	円
教科書, 教材費			30,181	円
その他大学に支払った経費			0	円
その他 (旅費)			224,000	円
その他 ()				円
その他 ()				円

3-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	大学内のレストラン、本屋はすべてカード払いでした。北欧諸国はカード払いが主流なのでカードは絶対に必要です。念の為2枚くらい持っていくことをお勧めします。
住居にかかった費用	毎月アパートに請求書が届く、それを確認し、wiseという送金アプリで支払いました。
その他	友達間のお金のやり取りもスマホを使うことが多かったです。

3-3. お金の管理方法

渡航時	現金	2万 円	その他 ()	円
留学中	海外送金	<input type="radio"/> キャッシング	その他 ()	

4. 学業面

履修科目名	種類 ex.正規/聴講	単位数	単位互換認定 申請の有無			
			<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1 Swedish for Foreign Students, Level A1	正規	7.5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 Sweden and the Swedes	正規	15	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 The Sociology of the Ageing Society	正規	7.5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 Outdoor school with a focus on biology and Swedish nature	正規	7.5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5			<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

4-1. 授業科目の選択, 登録方法

授業の登録は、10月くらいにコーディネーターにメールを送り、行います。留学が決まると詳しい内容が書かれた資料が送られてくるので大きな問題はなかったです。後で変更もできるので安心してください。自分も2、3回くらい変更しました。取れる授業の数、期間が詳しく決まっているためシラバスなどをよく確認するようにしてください！

4-2. 授業内容, 方法に関して

授業内容は、大きく分けてレクチャーとセミナーに分けることができます。レクチャーは先生が講義をする形式で、セミナーは、レクチャーの内容をもとに生徒同士で話し合うものです。レクチャーオンリー、セミナーオンリーの授業はなく、ほぼ半々くらいの割合であります。

4-3. 語学力について

派遣留学の基準（自分の場合はIELTS5.5）を満たしていれば特に問題はないと思います。もちろん語学力があればとても心強いです。現地で生活していれば徐々に慣れていきます。自分も基準ギリギリであったのであれこれ心配してしまいましたが、杞憂だったなと感じます。発音を綺麗にしなくてとは思っていましたが、大切なのは発音の綺麗さ、文法の正確さではなく、どれだけ自分の言いたいことが言えるかだと思います。リンショーピン大学には、世界中から留学生が来ていますが、国によって発音の仕方も様々でどうでも良くなってきます。相手と喋ればそれでOK！と割り切れれば、積極的に喋れるようになるのではないのでしょうか。相手も英語の良し悪しなど大して気にしていないので失敗を恐れず頑張ってください！！

4-4. 図書館など学内施設について

学内施設は非常に充実していると思います。自習スペースがたくさんある図書館、ジム（有料）、レストラン、学生交流スペースなどあげればキリがありません。また、コーヒーが一杯90円くらいで買えるのもとても魅力的です。また、一直線の道に建物が並んでいるので歩きやすいです。

4-5. その他

リンショーピン大学により興味を持ってくれる人が増えるように自分なりにリンショーピン、さらにリンショーピン大学についてまとめた資料を作りましたので添付しておきます。自分で言うのもなんですがなかなかいい出来だと思うのでぜひ見てみてください笑。

5. 生活面

5-1. 住居について

住居はコリドーと呼ばれるキッチン、リビングが共有の寮に住んでいました。少し高くなりますが、一人部屋も選択できるそうです。洗濯機、乾燥機は別の建物にあるため毎回洗濯するのが大変でした。住んでいる学生は、年齢、国籍が様々で自分は、オランダ、シンガポール、スウェーデン、マラウイ、フランス、中国の学生と一緒に住んでいました。

5-2. 食生活について

スウェーデンはとても物価が高いです。外食をすると余裕で1000円を超えます。学食も同じでとても高いのであまり行きませんでした。そのため、基本的に自炊することになります。寮から500メートルほど離れたところにスーパーマーケットがあるためそこで食材をよく買っていました。野菜や果物は日本と大体同じくらいで、肉類は少々高くなります。ひき肉は安いのでよく買っていました。また、お米も売っているため日本食も作ることができます。自分は、お米を買って鍋を使って炊いていました。

5-3. インターネット環境, 携帯電話について

寮にはWi-Fiがないので自分でルーターを買う必要がありました。携帯電話は、SIMカードを毎月購入しました。近くのコンビニで買うことができました。今のうちにSIMフリーの携帯に変更しておくことをお勧めします。データ量は5GBのものを買っていました。最初はGoogleマップを使う機会が多くなるのでもう少し多めに買っていいと思います。料金は2000円くらいです。

5-4. 服装について

1月～3月 気温も低く、雪が降るため厚手のコート、手袋、帽子があると心強いです。

4月～5月 徐々に気温が上がっていき、快適になります。春物の服が活躍します。

6月 急に気温が上がり、25度くらいになる日も多くなります。半袖があるといいです。

服はセカンドハンドショップやH&Mで買っていました。

5-5. 健康管理について

気温の変化が大きく、体調を崩しやすいので気をつけてください。自分は4月の初めに風邪をひきました。幸い寮で安静にしていれば問題はなかったのですが、海外で体を壊すととても不安になるため日頃から手洗い、うがいを忘れないようにしてください。コロナは風邪と同様の扱いで、マスクをつけている人はほぼいなかったです。

5-6. 保険, 危機管理サービスの利用について

大学指定の保険、危機管理サービスを利用しました。大きな問題もなく使う機会はなかったです。

5-7. 課外活動について

自分はEAAと呼ばれる東アジアに興味のある学生が集まるサークルによく行っていました。火曜日と木曜日の17:15～19:00くらいまでで、日本語を教えたり、みんなでお菓子を食べながらお喋りができます。EAAの活動を通じてたくさんの友達を作れたのでぜひ参加してみてください！公式インスタグラムもあるので興味がある方はみてください！

5-8. 学外のコミュニティとの交流について

学外コミュニティには特に参加しませんでした！

5-9. 日本から持参してよかったもの

イヤホン:寮にはいろんな国の人が暮らしていて、多様な生活様式を持っています。人間、もちろん合う合わないがあるため一人の時間がとても大切になります。その時に音を遮断してくれるイヤホンは重宝しました。

日焼け止め:4月くらいから日が長くなり、日差しがとても強くなります。日焼け止めは必要だと思います。現地でも買えますが、海外製品をいきなり使うのは気が引けると思うので持って行った方がいいです！

日本のお土産:寮のみんなに配り、日本を紹介すれば距離をグッと縮めることができます。自分は特にもってきていなかったのですが、食べるように持ってきた冷凍味噌汁とご飯をすべて配ってしまってとても後悔したのでぜひ。

日本食:「オレは海外にいくから日本食なんていらんぜ！」と意気込んでいても、必ず日本食が恋しくなる機会があるので、何かしらは持って行った方がいいかなと思います。

5-10. 日本から持参したが不要だったもの

現地で大体のものは買えるので服などはあまり持っていかなくても大丈夫だと思います。行きの荷物が重くなってしまい大変になってしまうので！

5-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い, マナーなど)

「スウェーデンタイム」というものがあるらしくて、これは待ち合わせ時間に15分までなら遅れても大丈夫という習慣だそうです。なのでスウェーデン人の友達が時間に遅れても怒らないでくださいね。

5-12. 余暇の過ごし方

旅行

ストックホルム旅行	2023年4月12日	費用:15000円	内容:観光旅行
デンマーク旅行	2023年4月24日	費用:14000円	内容:観光旅行
フィンランド旅行	2023年5月18日-19日 (1泊2日)	費用:100000円	内容:観光旅行
ノルウェー旅行	2023年6月6日-7日 (1泊2日)	費用:95000円	内容:観光旅行

その他

授業が大変で頭がこんがらがることが結構多かったのですがその時は、家や大学の周りにある森を散歩していました。インターネットに憩いを求めても焦りが高まるが多かったので何も考えずにとりあえず外に出た方がいいです！幸いリンショーピンは豊かな自然に囲まれているため、リラックスできます。あとは、友達と会って話すこともおすすめです！家に一人だといろいろなと背負い込んでしまうので。

6. その他

6-1. 留学先大学について

リンショーピン大学には、日本文化に興味のある学生が非常に多いです。EAAという東アジアについて学ぶサークルがあったり、日本語を学ぶ授業があったりと他の大学にはない魅力があります。

6-2. 留学希望者へのアドバイス

とにかく心配せずに挑戦してみることをお勧めします。自分は留学する前あれこれ心配して留学体験記やネットのサイトを読み漁っていました。今考えるととても無駄な時間だと後悔しています。他人がマイナスと感じたことも自分が実際に体験してみたらとても良かったり、逆にいいと聞いていたものが、全然良くなかったり、相手の意見に振り回され、不安になるより自分を信じて何事もチャレンジしてみてください！留学体験記を読むなどと言っているのではなく、しっかり留学に必要な情報は手に入れてくださいね！

6-3. 留学を終えて

派遣留学を通して、英語力はもちろんなのですが、それよりも人間的に何段階も成長できたと思います。留学先では、食事、気候といった生活環境が日本とは違いそれに対応するために自分自身でどうすればいいのか試行錯誤し、解決しなければいけませんでした。もちろん頼れる人もいましたが、英語を使って話さなければいけなかったため、自分の伝えたいことを完璧に相手に言うのは難しく、まるで別人になってしまったようでした。この、自分自身で考え、課題を解決する力はこれから社会に出る上でとても大切な力だと思いますし、対応できるぞ！という自信ができました。これから辛いことや諦めたくなることがたくさんあると思いますが留学での経験を思い出して乗り越えていきたいと思えるようになりました。また、日本での生活がいかに恵まれているか気づくことができました。時間通りにくる電車、安く早く食べることができるレストラン、普段何気なく使っていたものがどれほどありがたいのか留学生活を通し気づくことができました。最後に自分が留学を終えて無事に日本に帰ってこれたのは支えてくれた家族、先生方、友人に感謝し、頑張ることで恩返ししていきたいです。最後まで読んでいただきありがとうございました。

お疲れさまでした。

リンショーピン

はじめに

この資料は、これからリンショーピンに大学に留学する人が不自由なく留学生活を送ってもらえることを願い、書かせていただきました。というのも、自分が留学した時は、リンショーピンについて、さらにリンショーピン大学についての情報が少なく、どうすればいいのか悩むことが多かったからです。もちろん悩み、考えることで成長することができるかもしれませんが、留学期間は限られているため、なるべく早く対応し、充実した留学生活を送りたいと考えている人が多いのではないのでしょうか？自分の力で切り開いてやる！！と思っている方は流し見る感じで大丈夫です！

「地球の歩き方」という旅行に欠かせないとても便利な旅本があるのですが、残念ながらリンショーピンは載っていません。なのでその本をもとに自分で作らせていただきました。。これからリンショーピンに留学する人だけでなく、興味がないけどどこかには留学したいなと思っている人でもこの資料を読んで興味を持って、留学してくれれば嬉しいです。

自分が留学した1月～6月の情報しか載せられずに申し訳ございません。

基本情報

気候(自分の体感)

1月～2月

ほぼ気温はマイナスです。でも外に出れないほどではないです。覚えている限り最低気温は-9度くらいだったと思います。最高気温は9度くらいです。日の時間も短く、午後5時くらいには暗くなります。

3月

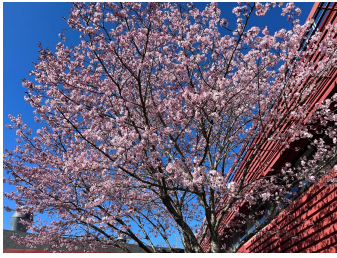
少しずつですが日に日に暖かくなり、日も伸びていきます。雪が降る時もありました。

4月

4月になると10度を越える日が多くなります。日も急にのびて明るい時間が多くなります。散歩が気持ちいいです。

5月

春到来と言っても差し支えないくらいあったかくなり、22時くらいまで明るいです。気温も20度を越える日が多くなります。しかし、湿度が低いいため、体感はもっと寒いと思います。いつ半袖に衣替えするか迷います。



←桜も咲いています

6月

1月～4月の前半くらいにオーロラを見れる可能性があります。僕は4月にみれました！アプリ、サイトを利用することでいつ見れる可能性があるのかチェックできます！

治安と言語

キャンパス付近、寮周辺は基本的に安全なので安心して下さい。しかし、駅周辺など、場所によっては、柄の悪い人がたくさんいるところもあるので気をつけたほうがいいかもしれません。また、公用語はスウェーデン語ですが、ほぼ全ての人が英語を喋れるため、言語の心配もありません。しかし、スーパーやショッピングセンターの商品表示はスウェーデン語なので買い物が大変でした。

物価

これはスウェーデン共通なのですが、物価はとても高いです。外食は常に1000円超えです。そのためほぼ毎日自炊する必要があります。幸い、スーパーではお手頃な価格でお肉や野菜、果物を買えます。通貨はクローナで大体1クローナ=13円です。

交通について

特に移動で困ることはありませんでしたが、最初はどのバス、電車に乗るのかわからないと思います。しかしこれを読めば心配ないです。

バス

自転車を買う前は基本的にバスを使った移動になります。バスの乗り換え、運行状況は【Östgötatrafiken】というアプリで確認できます。バス停は至る所にあるので、しないのであればどこにでも行けます。乗り場はA,Bで分かれていますのでしっかりアプリで確認して間違えないように注意してください。



←Östgötatrafikenアプリ

電車

市内に中央駅が一つあります。(寮から自転車で15分くらい)ストックホルムへいく時は電車を使います。約2時間くらいかかります。チケットは、Omioといったアプリを利用して買うことができます。駅の構内でも買うことができます。



←omioアプリ

デンマークの首都コペンハーゲンへの列車も出ているため、リンショーピン中央駅からコペンハーゲン中央駅まで直接いくことができます。1万4千円くらいで行け、パスポートもいらないので千葉県から栃木県へ行くくらいの気軽さです。

大学バス

リンショーピン大学は、ノーショーピンにもキャンパスを持っているため、この二つのキャンパスを行き来する無料のバスが走っています。大体1時間に1本くらい走っています。ノーショーピンで開講される授業もあるため、無料なのはとてもありがたいです。時刻表、バス停の場所は、Liuアプリで確認できます。これは、ガイダンスが終わってからインストールすれば大丈夫です。



←Liuアプリ

スクーター

日本ではあまり馴染みがないのですが、スクーターも移動手段の一つです。アプリを使って支払いをします。しかし結構高いので僕は全く利用していません。

自転車

おそらく最も主流な移動手段だと思います。自転車がないとキャンパスへは歩くか、バスを使うか、スクーターを使うしかないため、労力、コストがかかります。自転車はFacebookか、What Appの大学内フリーマーケットグループから購入するのが一番安くお勧めです。留学が決まったらリンクが送られてくるので入れるか心配しなくて大丈夫です。

アクセス

日本からリンショーピンへの行き方を紹介します。大体14時間くらいです。あくまでも自分のケースなので参考程度に！日本からの直接便はないのでどこか経由する必要があります。

行き

羽田空港(東京)

↓飛行機

イスタンブール空港(トルコ)

↓飛行機

アーランダール空港(スウェーデン)

↓アーランダールエクスプレス 20分

ストックホルム中央駅(スウェーデン)

↓電車 2時間

リンショーピン中央駅(スウェーデン)

アーランダ空港からストックホルム中央駅までは、アーランダエクスプレスという電車が出ています。チケットは現地で買うこともできますし、サイトから事前に買うこともできます。当日はおそらく不安と緊張でバタバタしてしまうと思うので事前に買うことをお勧めします。

帰り

リンショーピン中央駅

↓

ストックホルム中央駅

↓

アーランダ空港

↓

ヘルシンキ空港

↓

羽田空港

歩き方

リンショーピンはそこまで大きくない街ですが、森や坂がたくさんあり複雑な構造をしているため、スムーズに移動できるようになるまで結構かかります。僕は3ヶ月くらいかかりました。アドバイスとしては市の中心にでっかい教会があるためとりあえず中心部にいきたい時はその教会を目指して歩けば大丈夫です。

Rydsvagen

寮がある地域です。Recentrumという商業施設が近くにあります。スーパーやカフェ、郵便局的なものが併設していて、食べ物を買ったり、日本から送ってもらった郵便物を受け取ることができます。

Hemkop

Rcentrumにあるスーパーです。多くの学生がここで買い物をします。食料品、日用品、基本的なものはなんでも揃います。

リンショーピン中央駅(寮から4kmくらい)

バス停

みなさんが最初に降り立つ場所です。駅内にはコンビニ、カフェがあるので長時間待機できます。またWifiも問題なくつながります。初日に大学のバスが中央駅まで迎えに来てくれます。詳しくは<https://liu.se/en/article/upon-arrival>こちらのサイトをチェック！

リンショーピン空港

リンショーピンにも空港はあるのですが、基本的に海外へいく時は、ストックホルムにあるアーランダ空港を利用します。この空港からはオランダのアムステルダムへの直行便が出ているそうです。自分は一回も利用したことがないので場所もよくわかりません。

リンショーピン大学

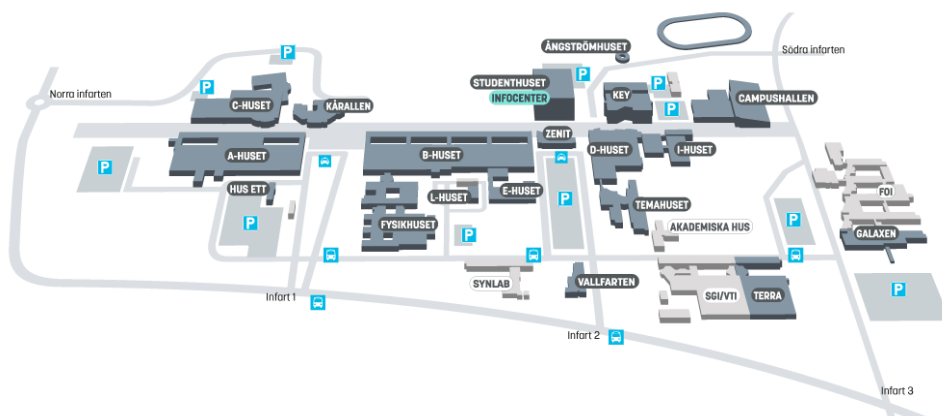
リンショーピン大学はとても魅力に溢れています！！しかし、システムが日本と全く違うため、理解し、対応するまでかなり時間がかかりますが、これを読めばスムーズに生活できるようになります！！僕自身、留学するにあたり、いろいろな情報を調べましたが、なかなか自分が手に入れたい情報を得ることができませんでした。留学の準備はやるのがたくさんあり、大変で、また終わるのか不安になるものです。これを読めば留学に対する不安が少しでも和らげば良いなと思っています。

キャンパス

キャンパスはそこまで大きくないです。西千葉キャンパスとほぼ同じ大きさだと思います。しかし周りに森がたくさんあって、どこまでがキャンパスなのか線引きが難しいです。授業で使う主な建物は基本的に一本道に並んでるので歩きやすく、見つけやすいです。自然に囲まれていて、歩いてとても気持ちいいです。彫刻もたくさんあります。

公式サイトにマップが上がっていて、行きたい場所を検索することができます。

[karta](#)



↑キャンパスマップ

こんな感じでキャンパスは横長になっています。

大体全長1kmくらいです。寮はここから2kmほど左に離れています。

主な建物を紹介します。

A-HUSET:全く使わなかったです。理系学部の建物。3Dプリンターが置いてあります。

B-HUSET:2、3回くらいしか使わなかったです。たまーに授業が行われます。

C-HUSET:個別勉強スペースがたくさんあります。授業も行われることが多いです。EAAの集まりは毎回この建物でした。また、売店、カフェもあります。(めちゃくちゃ高い)

STUDENTHUSET:図書館です。とても綺麗で勉強するスペースがたくさんあり居心地がいいです。一階でコーヒーやお菓子を買うことができます。自分のマグカップを持っていけばコーヒーを60円くらいで買えるのでぜひ持参してみてください。

KEY:ここで一番授業を受けました。カフェもくつついていますが高すぎて一回も行きませんでした。

授業

スウェーデンの授業形式、履修登録の仕方の多くが日本と違います。

授業形式

千葉大学が6タームに分かれているのに対し、こちらは春学期、秋学期の2つです。さらに学期ごとに4つに分けられ、毎月開講される授業が変わります。授業の種類はfull-time、part-timeの2種類あります。

Lisamという千葉大学のmoodleのようなサイトがあります。ここで授業の資料をダウンロードしたり、連絡を見たりできます。

full-time

開講期間:1ヶ月

頻度:週に2~3回

半年の留学であれば最大4つのfull-time授業をとることができます。(2月、3月、4月、5月それぞれ1つ)自分は3月、5月のfull-time授業を取りました。授業内容は公式ホームページに載っているシラバスで確認できます。<https://liu.se/en/article/exchange-courses?faculty=1>

大体週に2~3回あり、学生同士でディスカッションしたり、先生の講義を聞いたりします。評価基準は授業によって違いますが、自分がとっていた授業ではどちらも最終課題としてプレゼンとレポートがありました。また、毎週、授業で学んだことをまと提出する必要がありました。

Part-time

W1	W2	W3	W4	W5	W6	W7	W8	W9	W10	W11	W12	W13	W14	W15	W16	W17	W18	W19	W20	
1 st course 7.5 ECTS full-time																				
					2 nd course 7.5 ECTS full-time															
										3 rd course 7.5 ECTS full-time										
															4 th course 7.5 ECTS full-time					
Part-time course 7.5 – 15 ECTS																				

授業に求められる英語力

シラバスをみてみるとわかるのですが、授業には履修条件があります。ほぼ全ての授業で English6 という英語力が求められています。これはIELTSに換算すると6.5くらいだそうです。(自分がIELTSを使ったのでIELTSのものしかわかりません。申し訳ないです。)しかし、特に聞かれることもなく、リンショーピン大学の派遣留学に申し込める英語力(IELTS5.5など)があれば特に気にしないで大丈夫です。自分もスコアが届いていませんでしたが問題なく履修登録できましたので。

授業紹介

大学公式サイト シラバスだけでは、授業の詳しい内容がわからないと思うので自分が履修した授業を詳しく紹介します。

Swedish for Foreign Students, Level A1(part-time)

開講期間:2月～5月

頻度:週一回 3時間程度

基本的な文法事項、さらに会話の仕方を学びます。授業の最後に、筆記テストと口頭テストがあります。先生も優しく、授業をちゃんと復習すれば問題ないと思います！あと、たまに宿題が出ます。評価方法は、宿題の提出、筆記テスト、口頭テストです。授業は出席できなくても問題ないらしいです。(全く来ていない学生もいました)しかしせっかくスウェーデンに学びにきているので授業は毎回出席しましょう！

Sweden and the Swedes(part-time)

開講期間:1月～5月

頻度:不定期 1時間45分程度

この授業は2つのパートに別れていて、前半ではスウェーデンの歴史、後半でスウェーデンの社会制度について学びます。評価方法は、4つのレポート(A4 3-4枚程度)と授業への参加です。

The Sociology of the Ageing Society(full-time)

開講期間:3月

頻度:週2~3回 1時間45分程度

高齢化社会に対する社会政策について学びます。この授業が一番大変だった気がします。というのも毎回キャンパスからバスで1時間離れているノーショーピンキャンパスへ週2回程度いく必要があったからです。また、毎週論文を読み、週の終わりに自分の考えをまとめて提出必要がありました。しかしこの授業を通して、とても成長できたと思います。先生もとても優しくいい人なので困ったらすぐ相談しましょう！

評価方法は、授業への出席、まとめの提出、グループでのプレゼン、最終レポートです。

Outdoor school with a focus on biology and Swedish nature

開講期間:5月

頻度:週2~3回 時間は不定期

スウェーデンのOutdoor schoolについて学ぶ授業です。Outdoor schoolというのは、屋外の自然を利用して授業を行うスウェーデンで有名な授業形態らしいです。

とても面白い授業でした。外で過ごす時間がとても多かった気がします。

学生生活

リンショーピン大学には多くの学生団体があります。自分はEAAという東アジアの言語や文化について学ぶ団体に所属していました。

EAA(East Asia Association)

頻度:週に2回 火、木の17:15-19:00くらいまで

17:15-18:00で言語について学びます。(火はスウェーデン語 木は日本語など)

18:00からはみんなでお菓子を食べながらお喋りします！

いつ退席しても、いつ来ても大丈夫です！自分は日本語の先生として毎週教えていました！また、休日にはパーティーをしたりするのでとても楽しいです。日本語をしゃべれるスウェーデン人学生や興味を持ってきている学生がとても多いのでぜひ参加してみてください！また、日本人学生にも会うことができます。自分もこの団体を通じてたくさんの友人ができました。最初、日本

人とはあまり関わらず、たくさん英語を喋ってやるんだい！！と意気込んでいましたが、そんなに人間強くもないので、やはり人それぞれだとは思いますが、このような環境が必要だと思います。

他にもいろいろな団体があるので、インスタグラムやfacebookでぜひチェックしてみてくださいー。

他にも何か知りたいこと、不安に思っていることがあれば気軽に質問してください！